

特別展 日独交流150周年記念

ハンブルク浮世絵コレクション展

2010年10月1日(金)～11月28日(日)

I 期:10月1日(金)～17日(日) II 期:10月19日(火)～11月7日(日) III 期:11月9日(火)～11月28日(日)

(10月4、12、18、25日/11月1、8、15、20日は休館致します。)

※リストの番号は展覧会図録の作品番号と一致し、作品の展示順とは一致しません。予めご了承下さい。

※展示期間: I 期:10/1～17 II 期: 10/19～11/7 III 期:11/9～28

※期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

No	作者	画題	判型	年代	I 期	II 期	III 期
I 優品にみる浮世絵の展開 1.初期浮世絵版画の時代							
1	菱川師宣	上野花見の躰 花見の宴	横大判墨摺筆彩	天和期(1681～84)頃			
2-1～6	菱川師宣	酒呑童子	横大判墨摺筆彩	延宝8年(1680)頃			
2-7～12	菱川師宣	酒呑童子	横大判墨摺筆彩	延宝8年(1680)頃			
2-13～19	菱川師宣	酒呑童子	横大判墨摺筆彩	延宝8年(1680)頃			
3	奥村政信	吉原八景「さばへの帰帆」	横大判墨摺絵	正徳期(1711～16)頃			
4	奥村政信	吉原八景「いつゞけのぼせつ」	横大判墨摺絵	正徳期(1711～16)頃			
5	奥村政信	吉原八景「へいさのらくね」	横大判墨摺絵	正徳期(1711～16)頃			
6	奥村政信	新吉原二階座敷土手ヲ見通シ大浮絵	横大大判紅絵	延享2年(1745)頃			
7	西村重長	「風流浮絵 そなれ松」	横大判紅絵	延享～寛延期(1744～51)頃			
8	石川豊信	稽古本を持つ娘	巾広柱絵紅絵	延享4～寛延期(1747～51)頃			
9	二代鳥居清倍	初代中村富十郎のお七	細判漆絵	寛保2年(1742)			
10	鳥居清満	三代目大谷広次郎の次郎よしざね 初代尾上菊五郎の小的とうふう	細判紅摺絵	明和元年(1764)			
11	鳥居清満	座敷春駒踊り	横大判紅摺絵	宝暦期(1751～64)頃			
12	鳥居清満	二代目瀬川菊之丞のお七と二代目吾妻藤蔵の吉三	中判錦絵	明和後期(1769～72)頃			
I 優品にみる浮世絵の展開 2.錦絵の完成							
13	鈴木春信	三十六歌仙「源宗朝臣」	中判錦絵	明和4～5年(1767～68)頃			
14	鈴木春信	三十六歌仙「源順」	中判錦絵	明和4～5年(1767～68)頃			
15	鈴木春信	「寄山吹」	中判錦絵	明和4～5年(1767～68)頃			
16	鈴木春信	「風流四季歌仙 弥生」	中判錦絵	明和5年(1768)頃			
17	鈴木春信	下駄の雪取り	中判錦絵	明和4～5年(1767～68)頃			
18	鈴木春信	団扇売り	中判錦絵	明和4年(1767)頃			
19	礪田湖龍斎	諫鼓鳥	中判錦絵	安永期(1772～81)期			
20	礪田湖龍斎	二美人	柱絵判錦絵	明和末～安永初期(1770～74)頃			
21	礪田湖龍斎	「雛形若菜の初模様 大文字や内 たか袖」	大判錦絵	安永後期(1775～81)頃			
I 優品にみる浮世絵の展開 3.錦絵の黄金時代							
22	一筆斎文調	二代目瀬川菊之丞	細判錦絵	明和中期(1768～70)			
23	勝川春章	「古今序 和歌六儀 五ツにたゝこと哥」	中判錦絵	明和末期(1770～72)			
24	勝川春章	初代中村仲蔵の惟明親王	細判錦絵	安永2年(1773)			
25	勝川春好	四代目岩井半四郎 四代目松本幸四郎	団扇絵判錦絵	天明5年(1785)頃			
26	勝川春英	三代目市川高麗蔵 二代目嵐龍蔵	大判錦絵	天明7～8年(1787～88)			
27	鳥居清長	「児女宝訓 女今川」	中判錦絵	天明中期(1783～85)頃			
28	鳥居清長	「誹風柳多留」	中判錦絵	寛政前期(1791～93)頃			
29	鳥居清長	「雪月花美通の色取」 雪	大判錦絵	天明中期(1783～85)頃			
30	鳥居清長	大川端の夕涼	大判二枚続の左図	天明4年(1784)頃			
31	鳥居清長	初代中村里好の丹波屋おつま 三代目市川八百蔵の古手屋八郎兵衛	大判錦絵	天明5年(1785)			
32	無款(鳥居清長)	三代目瀬川菊之丞 四代目岩井半四郎	大判錦絵	寛政期(1791～1801)頃			
33	勝川春潮	水茶屋の二代目市川門之助と初代尾上松助	大判錦絵	天明期(1781～89)頃			
34	勝川春潮	初代中村仲蔵の佐藤忠信 初代山下八百蔵の静御前	大判錦絵	天明7年(1787)			
35	東洲斎写楽	松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ	大判錦絵	寛政6年(1794)			
36	東洲斎写楽	「成田屋三舛」 六代目市川団十郎の荒川太郎	間判錦絵	寛政6年(1794)			
37	東洲斎写楽	六代目市川団十郎のみまな行教	細判錦絵	寛政6年(1794)			
38	喜多川歌麿	高輪の美人	大判錦絵	寛政6～7年(1794～95)			

39	喜多川歌麿	六玉川 高野の玉川	大判錦絵	寛政7～8年(1795～96)			
40	喜多川歌麿	千代鶴	大判錦絵	寛政6～7年(1794～95)			
41	喜多川歌麿	「艶中八仙 琴高 丁子屋内 雛鶴 つるし つるの」	大判錦絵	寛政6～7年(1794～95)			
42	喜多川歌麿	「風俗美人時計 巳ノ刻 囀」	大判錦絵	寛政10～11年(1798～99)			
43	喜多川歌麿	「流行模様哥麿形 お染 久松」	大判錦絵	寛政10～11年(1798～99)			
44	喜多川歌麿	「江戸名物錦画耕作」	大判錦絵三枚続	享和3年(1803)頃			
45	喜多川歌麿	美人子供行列	大判錦絵五枚続	文化前期(1804～06)頃			
46	喜多川歌麿	「婚礼之図 三枚続」	大判錦絵三枚続	文化前期(1804～06)頃			
47	喜多川歌麿	「婚礼色直し之図 三枚続」	大判錦絵三枚続	文化前期(1804～06)頃			
48	栄昌斎長喜	懷中鏡を持つ美人	大判錦絵	寛政5～7年(1793～95)			
49	鳥園斎栄深	鷹匠	大判錦絵	寛政後期(1789～1801)頃			
50	勝川春山	「淀川堤八幡参之図 三枚続」	大判錦絵三枚続	天明～寛政期(1781～1801)頃			
51	勝川春山	「坐敷八景 あんとうの夕照」	団扇絵判錦絵	天明～寛政期(1781～1801)頃			
52	泉昌有 (勝川春山)	疱瘡絵 豆太鼓と子供	細判	天明後期(1786～89)頃			

I 優品にみる浮世絵の展開 4.多彩な幕末の浮世絵

53	歌川豊国	恵美須屋店先の往来	大判錦絵三枚続	寛政前期(1791～93)頃			
54	歌川豊国	見立宝舟七福神	大判錦絵三枚続	寛政末期(1799～1800)頃			
55	歌川豊国	やつし東下り	大判錦絵三枚続	寛政7年(1795)頃			
56	歌川豊国	三代目市川八百蔵の武部源蔵 二代目岩井喜代太郎の戸浪	大判錦絵	寛政8年(1796)			
57	歌川豊国	「風流五色糸」猫を抱く美人	大判錦絵	文政期(1818～24)頃			
58	歌川豊広	梅もぎ	大判錦絵三枚続	文化2年(1805)11月			
59	二代喜多川歌麿	富士の白酒	大判錦絵三枚続	文化4年(1807)11月			
60	勝川春扇	吉原引手茶屋正月の景	大判錦絵三枚続	文化2年(1805)			
61	鳥居清峯	「今様五人囃」	大判錦絵五枚続	文化期(1804～18)			
62	葛飾北斎	「浮世源氏十二段之図」	横大判錦絵	天明前期(1781～84)頃			
63	葛飾北斎	「富嶽三十六景 下目黒」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃			
64	葛飾北斎	「富嶽三十六景 礪川雪ノ旦」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃			
65-1	葛飾北斎	「富嶽三十六景 東都駿台」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃			
65-2	葛飾北斎	「富嶽三十六景 東都駿台(校合摺)」	横大判錦絵校合摺	天保2年(1831)頃			
66-1	葛飾北斎	「富嶽三十六景 相州箱根湖水」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃			
66-2	葛飾北斎	「富嶽三十六景 相州箱根湖水(校合摺)」	横大判錦絵校合摺	天保2年(1831)頃			
67	葛飾北斎	「富嶽三十六景 相州江ノ嶋(校合摺)」	横大判錦絵校合摺	天保2年(1831)頃			
68	葛飾北斎	「富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図(校合摺)」	横大判錦絵校合摺	天保2年(1831)頃			
69	葛飾北斎	「富嶽三十六景 登戸浦(校合摺)」	横大判錦絵校合摺	天保2年(1831)頃			
70	葛飾北斎	「富嶽三十六景 東都浅草本願寺(校合摺)」	横大判錦絵校合摺	天保2年(1831)頃			
71	葛飾北斎	「諸国瀧廻 東都葵ヶ岡の滝」	大判錦絵	天保初年(1833～34)頃			
72	葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 かめろど天神たいこはし」	大判錦絵	天保5年(1834)頃			
73	葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし」	大判錦絵	天保5年(1834)頃			
74	葛飾北斎	「百物語 さらやしき」	中判錦絵	天保2～3年(1831～32)頃			
75	葛飾北斎	「百物語 笑いはんにや」	中判錦絵	天保2～3年(1831～32)頃			
76	葛飾北斎	「百物語 こはだ小平二」	中判錦絵	天保2～3年(1831～32)頃			
77	葛飾北斎	「百物語 お岩さん」	中判錦絵	天保2～3年(1831～32)頃			
78	葛飾北斎	「百物語 いうねん」	中判錦絵	天保2～3年(1831～32)頃			
79	葛飾北斎	「百人一首うはかゑとき 持統天皇」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃			
80	葛飾北斎	「百人一首うはかゑとき 天智天皇」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃			
81	葛飾北斎	「百人一首乳母か絵説 中納言家持」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃			
82	歌川国虎	「近江八景 比良ノぼせつ」	横間判錦絵	文化～文政期(1804～30)頃			
83	歌川広重	「東海道五十三次 庄野」	横大判錦絵	天保4～7年(1833～36)頃			
84	歌川広重	「東海道五拾三次 大尾 京師」	横大判錦絵	天保4～7年(1833～36)頃			
85	歌川広重	「木曾海道六拾九次之内 須原」	横大判錦絵	天保7～9年(1836～38)頃			
86	歌川広重	「近江八景之内 比良暮雪」	横大判錦絵	天保5年(1834)頃			
87	歌川広重	「京都名所之内 八瀬之里」	横大判錦絵	天保5年(1834)頃			
88	歌川広重	「江戸高名会亭尽 木母寺雪見」	横大判錦絵	天保後期(1835～42)頃			
89	歌川広重	魚づくし 鰯と海老	横大判錦絵	天保3年(1832)頃			
90	歌川広重	「都名所 通天橋の紅楓」	団扇絵判錦絵	嘉永2～3年(1849～50)			
91	歌川広重	「富士三十六景 武蔵小金井」	大判錦絵	安政5年(1858)4月			

92	歌川広重	「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」	大判錦絵	安政4年(1857)11月			
93	歌川広重	「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」	大判錦絵	安政4年(1857)9月			
94	歌川広重	「名所江戸百景 真乳山山谷堀夜景」	大判錦絵	安政4年(1857)8月			
95	歌川広重	「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」	大判錦絵	安政4年(1857)11月			
96	歌川広重	「名所江戸百景 王子装束糸の木 大晦日の狐火」	大判錦絵	安政4年(1857)9月			
97	溪斎英泉	「岐州街道 鴻巣 吹上富士遠望」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃			
98	溪斎英泉	「木曾街道 蕨原 鳥居峠硯清水」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃			
99	溪斎英泉	「禽獣蟲魚図会 虬龍」	大判錦絵	天保前期(1830~36)頃			
100	歌川国芳	「東都富士見三十六景 隅田堤の夕富士」	横大判錦絵	弘化元年(1844)頃			
101	歌川国芳	「東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二」	横大判錦絵	弘化元年(1844)頃			
102	歌川国芳	「東都富士見三十六景 山王神事雪解の富」	横大判錦絵	弘化元年(1844)頃			
103	歌川国芳	「東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺」	横大判錦絵校合摺	弘化元年(1844)頃			
104	歌川国芳	「荷宝蔵壁のむだ書」黄腰壁	大判錦絵	弘化4年(1848)頃			
105	歌川国芳	「荷宝蔵壁のむだ書」黒腰壁	大判錦絵	嘉永元年(1849)頃			
106	歌川国芳	「山海愛度図会 ヲゝいたい 越中滑川大蛸」	大判錦絵	嘉永5年(1852)8月			
107	歌川国芳	「道外化もの夕涼」	横大判錦絵	天保末期(1842)頃			
108	歌川国芳	「摂州大物浦平家怨霊顕るゝ図」	大判錦絵三枚続	天保末期(1842~44)頃			
109	歌川国芳	「八犬伝之内芳流閣」	大判錦絵三枚続	天保11年(1840)			
110	歌川国芳	「誠忠義士肖像 中村勘助正辰」	大判錦絵	嘉永5年(1852)			
111	歌川国芳	「誠忠義士肖像 横川勘平宗則」	大判錦絵	嘉永5年(1852)			
112	柴田是真	鯉図	横中判錦絵	嘉永~安永期(1848~59)			
113	柴田是真	鯉の瀧のぼり	横中判錦絵	嘉永~安永期(1848~59)			
II 稀少な摺物と絵巻							
114	喜多川歌麿	三方の熨斗と盃	摺物	天明前期(1781~83)頃			
115	喜多川歌麿	鯛をさばく恵比須	摺物	寛政後期(1794~1801)頃			
116	北尾重政	印頼と印池	摺物	文化14年(1817)			
117	北尾重政	見立式三番	摺物	文政元年(1818)			
118	北尾重政	雅楽の楽器	摺物	文化5~文政3年(1808~20)頃			
119	窪俊満	印頼・印肉と文具	摺物	文化8年(1811)			
120	無款	「下毛鹿沼芙蓉連 花鳥七番続の内」鴛鴦と杜若	色紙判摺物	文化末年(1813~17)頃か			
121	葛飾北斎	日本式筆	横判摺物	文化5年(1808)頃			
122	葛飾北斎	七福神曾我の対面	色紙判摺物	文化7年(1810)頃			
123	葛飾北斎	「栲垣連五番之内和漢画兄弟」司馬温公と柴田勝	色紙判摺物	文化4年(1821)			
124	葛飾北斎	碁盤人形	色紙判摺物	文政3年(1820)			
125	葛飾北斎	碁盤人形(複製)	色紙判摺物				
126	葛飾北斎	「元禄歌仙貝合 ものあら貝」	色紙判摺物	文政4年(1821)			
127	葛飾北斎	「元禄歌仙貝合 なミまかしハ」	色紙判摺物	文政4年(1821)			
128	葛飾北斎	「元禄歌仙貝合 すだれ貝」	色紙判摺物	文政4年(1821)			
129	葛飾北斎	「元禄歌仙貝合 梅の花貝」	色紙判摺物	文政4年(1821)			
130	葛飾北斎	「馬尽 駒下駄」	色紙判摺物	文政5年(1822)			
134	葛飾北斎	「馬尽 三弦駒」	色紙判摺物	文政5年(1822)			
135	葛飾北斎	「馬尽 鞍馬牛蒡」	色紙判摺物	文政5年(1822)			
136	葛飾北斎	「馬尽 轡町」	色紙判摺物	文政5年(1822)			
137	葛飾北斎	「馬尽 竹馬」	色紙判摺物	文政5年(1822)			
138	葛飾北斎	「馬尽 有馬産」	色紙判摺物	文政5年(1822)			
139	魚屋北溪	琴高仙人	摺物	文政前期(1818~24)頃			
140	魚屋北溪	鯉節に山葵	色紙判摺物	文政前期(1818~24)頃			
141	魚屋北溪	「和書くらへ 袋草紙」	色紙判摺物	文政前期(1818~24)頃			
142	岳亭春信	沢蟹	色紙判摺物	文政期(1818~30)頃			
143	岳亭春信	「水滸伝五虎将軍 其一 関勝」	色紙判摺物五枚続	文政期(1818~30)頃			
144	岳亭春信	「水滸伝五虎将軍 其二 秦明」	色紙判摺物五枚続	文政期(1818~30)頃			
145	岳亭春信	「水滸伝五虎将軍 其三 林冲」	色紙判摺物五枚続	文政期(1818~30)頃			
146	岳亭春信	「水滸伝五虎将軍 其四 董平」	色紙判摺物五枚続	文政期(1818~30)頃			
147	岳亭春信	「水滸伝五虎将軍 其五 呼延灼」	色紙判摺物五枚続	文政期(1818~30)頃			
148	桜川慈悲成	七代目市川団十郎の暫	色紙判摺物	文政期(1818~30)頃			
149	桜川慈悲成	二代目市川団十郎の外郎売	色紙判摺物	文政期(1818~30)頃			
150	歌川豊国	品川御殿山の景	横長判摺物	文政期(1818~30)頃			
151	溪斎英泉	二美人	色紙判摺物	文政~天保(1818~36)			
152	溪斎英泉	見立草摺引き	色紙判摺物	文政前期(1818~23)頃			

153	鈴木南嶺・谷文晁・喜多武清	貼交ぜ	色紙判摺物	天保2年(1831)			
154	渡辺華山	お福	色紙判摺物	文政～天保12年(1818～41)			
155	鈴木其一	「竹取」	色紙判摺物	文化10～安政5年(1813～58)			
156	歌川広重	海苔採り	色紙判摺物	天保前期～中期(1830～39)頃			
157	歌川広重	一休禪師	色紙判摺物	嘉永～安政5年(1848～58)頃			
158	歌川国貞	七代目市川団十郎と五代目市川団十郎	色紙判摺物	文政2年(1819)			
159	歌川国貞	七代目市川団十郎と六代目市川団十郎	色紙判摺物	文政2年(1819)			
160	歌川国貞	七代目市川団十郎と初代市川鰻十郎	色紙判摺物	文政4年(1821)			
161	二代清満	市川団十郎改名披露摺物	全紙判摺物	天保3年(1832)			
162	河鍋曉斎	鼠と大黒	摺物	明治前～中期(1875～86)			
163	河鍋曉斎	面	摺物	慶応2年(1866)			
164		ゴンクール旧蔵摺物帖	折帖一帖	文化後期～天保期(1811～44)頃			
165		摺物帖		天保～嘉永(1830～54)頃			

Ⅲ 美しい浮世絵の版本

166	鈴木春信	『絵本青楼美人合』	色摺大本五巻四冊	明和7年(1770)6月			
167	北尾重政 勝川春章	『青楼美人合姿鏡』	色摺大本三巻一冊	安永5年(1776)			
168	喜多川歌麿	『狂月坊』	折本一帖	寛政元年(1789)8月刊			
169	喜多川歌麿	『銀世界』	折本一帖	寛政2年(1790)刊			
170	喜多川歌麿 葛飾北斎他	『男踏歌』	折本一帖	寛政10年(1798)春刊			
171	菱川宗理	『絵本職人鑑』	折本一帖	享和3年(1803)春刊			
172	魚屋北溪	『三才月百首』	半紙本一冊	文政12年(1829)4月刊			
173	魚屋北溪	『三才花百首』	半紙本一冊	文政10年(1827)4月刊			

Ⅳ 肉筆画と画稿、版下絵

174	勝川春章	桜花魁道中図	絹本著色一幅	天明7～8年(1787～88)頃			
175	北尾重政 狩野高信	久米仙人と洗濯美人	絹本著色一幅	安永～天明期(1772～89)頃			
176	鳥園斎米深	遊女図	絹本著色一幅	寛政後期～享和期(1795～1804)頃			
177	魚屋北溪	帰農の母子	紙本著色	文政期(1824～26)頃			
178	歌川広重	達磨と小僧	紙本	文政元～2年(1818～19)頃			
179	河鍋曉斎	恵比寿 大黒	絹本著色双幅	明治15年(1882)			
180	歌川豊国	初代瀬川路之助のけいせい夕きり・初代沢村源之助のふじや伊左衛門(版下絵)	団扇絵判版下絵	文化4年(1808)			
181	無款	後向き婦人図(画稿)	紙本墨絵(画稿)	文政中期(1821～25)頃か			
182	柳川重信	菖蒲刀を持つ男と矢の根五郎の人形(画稿)	紙本墨絵(画稿)	文政～天保3年(1818～32)頃			
183	歌川広重	「江戸名所 四季 夏 両国夕涼」(版下絵)	団扇絵判版下絵	天保後期～弘化期(1836～47)頃			
184	三代歌川豊国	四代目市川小団次の天日坊(版下絵・類似完成版画)	大判錦絵 大判版下絵	嘉永7年(1854)			
185	三代歌川豊国	「五十三次ノ内草津追分」(版下絵・類似完成版画)	大判錦絵 大判版下絵	嘉永7年(1854)			
186	歌川国芳	小野篁と閻魔(版下絵)	大判版下絵	天保7年(1836)頃			
187	歌川国芳	「源平八嵐大合戦」(版下絵)	大判三枚続版下絵	安政4年(1857)			
188	歌川国芳	脇差を振り上げる武士(画稿・版下絵)	画稿 大判版下絵	嘉永元年(1848)頃			
189	歌川貞秀	合戦図(版下絵)	大判三枚続版下絵	嘉永期(1848～53)頃			
190	歌川貞景	「五行之内 花壇の土」(版下絵)	大判版下絵	天保前期(1830～35)頃			
191	歌川芳虎	「宇治川合戦図」(版下絵)	大判三枚続版下絵	嘉永2～3年(1849～50)頃			
192	歌川房種	「花鳥風月之内 風」(版下絵)	大判三枚続版下絵	慶応4年(1868)			
193	歌川国麿	源氏絵 弥生の節句(版下絵)	大判三枚続版下絵	嘉永2～4年(1849～51)			
194	月岡芳年	熊坂長範と牛若丸(版下絵)	大判三枚続版下絵 の中 左図	慶応2年(1866)			
195	豊原国周	花鳥と二美人(版下絵)	大判版下絵	明治15～17年(1882～84)頃			
196	豊原国周	花鳥と二美人(版下絵)	大判版下絵	明治15～17年(1882～84)頃			
197	河鍋曉斎	恵比寿と大黒(画稿二種)		明治4～21年(1873～89)頃			

Ⅴ 参考作品

198	一筆斎文調・ 勝川春章ほか	墨摺団扇絵集	冊子装1冊	明和(1764～1772)頃～文化9年(1812)以降			
199		墨摺団扇絵集					
200	歌川豊国	文台で浮世絵を見る美人	板木 試摺品	寛政中期(1795～96)頃			
201	北尾重政	四代目市川団十郎の青海勘右衛門	板木 主表表裏の試摺品	明和4年(1767)			
202	鳥居清満	行水美人 中村助五郎(行水美人の板木裏)	板木 試摺品	明和年間(1764～72)頃			